

2023. 12. 21

(件名) コナクリ港で発生した爆発および火災について (第5報)

【本文】

●18日発生したカルム地区の石油貯蔵施設の爆発および火災を受け、20日夜ドゥンブヤ暫定大統領が国民に向け演説を行い、事故の犠牲者を悼んで本日21日から3日間国喪に服することが発表されました。

●20日にギニア石油公社 (SONAP) が発表した燃料損失の被害状況等は以下のとおりです。

(1) カルム地区石油貯蔵施設の13基が完全に損壊。その内訳はガソリンタンクが10基、ジェット燃料タンクが2基、ディーゼルタンクが1基。

(2) それによりガソリン29,000 m³、ディーゼル60,000 m³、ジェット燃料3,500 m³が消失した。

(3) 今後ガソリンや重油等を近隣国から陸路で集めたり、ポーキサイト会社の協力を得て接收したりするなど対策を取る。壊れた石油タンクの代用として内陸の貯蔵施設やポーキサイト施設を貯蔵先として今後活用することなどを検討する。

●IQairのサイトによれば、現在のコナクリの空気は6段階中下から3番目「Unhealthy」に属します。

(①Good、②Moderate、③Unhealthy for Sensitive Groups、④Unhealthy、⑤Very Unhealthy、⑥Hazardous)

健康に害を及ぼす可能性のある大気汚染状況ですので、以下の対応をお勧めします。

- ・外での運動は控える
- ・屋外ではマスクを着用する
- ・部屋の換気は控える
- ・空気清浄機があれば使用する

●本日21日朝から、コナクリ郊外のハムダライからバンベト、コサにかけてのルブラン通り (Route Le Prince) で、ガソリンスタンドの閉鎖に抗議する若者たちが道路上にバリケードを設置しタイヤを燃やすなどのデモを行ったことから、治安当局との間で衝突が発生しています。治安当局は催涙ガスなどを使い若者を解散させましたが、今後も同様の衝突が起きる可能性があることから、不用意に騒動が起きている場所には近づかないよう注意してください。

ギニアに滞在中の方は、引き続き慎重な行動を心がけるとともに、安全確保に努めてください。邦人が何らかの被害に巻き込まれたとの情報に接した場合には、大使館にご一報をお願いいたします。